

ロジメーターユーザー会

2025年7月9日

株式会社ベスト・ロジスティクス・パートナーズ

目次

1. 企業情報
2. ロジメーター導入までの流れ
3. ロジメーターの活用
4. 2025年取組事例
5. 今後の活用に向けて

1. 企業情報

1. 企業情報

【会 社 名】	株式会社ベスト・ロジスティクス・パートナーズ(略称:BLP)
【事業内容】	物流事業、物流コンサルティング業
【資 本 金】	1 億円
【出資比率】	三菱食品株式会社 100%
【設 立 日】	2024 年 11 月
【代表取締役】	小谷 光司
【従業員数】	787 名(2025年4月1日時点、臨時社員・派遣社員含)
【本店所在地】	〒112-8778 東京都文京区小石川一丁目 1 番 1 号
【売上規模】	1,889億円

1. 企業情報

数多くの食品(常温・低温)物流センター構築とセンター運営の経験を活かし、「企画設計力」「現場実践力」「全国物流網」「現場改善力」で、貴社の物流プロジェクトを包括的にサポート致します。

① 企画設計力



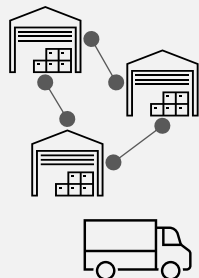
全国の小売業様向けに企画・設計・監修の実績があります。

② 現場実践力



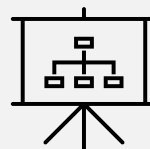
全国の実践ノウハウを共有し、パートナー企業と信頼構築のもと取り組み事例を積み重ねています。

③ 全国物流網



376拠点、取組物流パートナー400社、配送車両数7,500台の活用によるソリューション提案を実施致します。

④ 現場改善力



デジタル機器の活用による運用の可視化、データ分析、改善立案を本社とエリアが一体となり取り組み推進しています。

1. 企業情報



+ パートナー企業

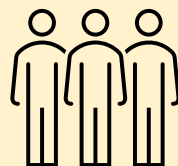
取引先数
約 6,500社

納品先数
約 3,000社

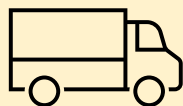
生産者・メーカー



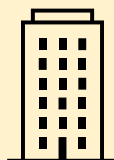
376拠点
(国内物流拠点数)



約20,000人/日
(庫内従業員数)



約7,500台/日
(稼働車両台数)



約400社
(物流パートナー企業)

小売業・外食産業

生活者

2.ロジメーター導入までの流れ

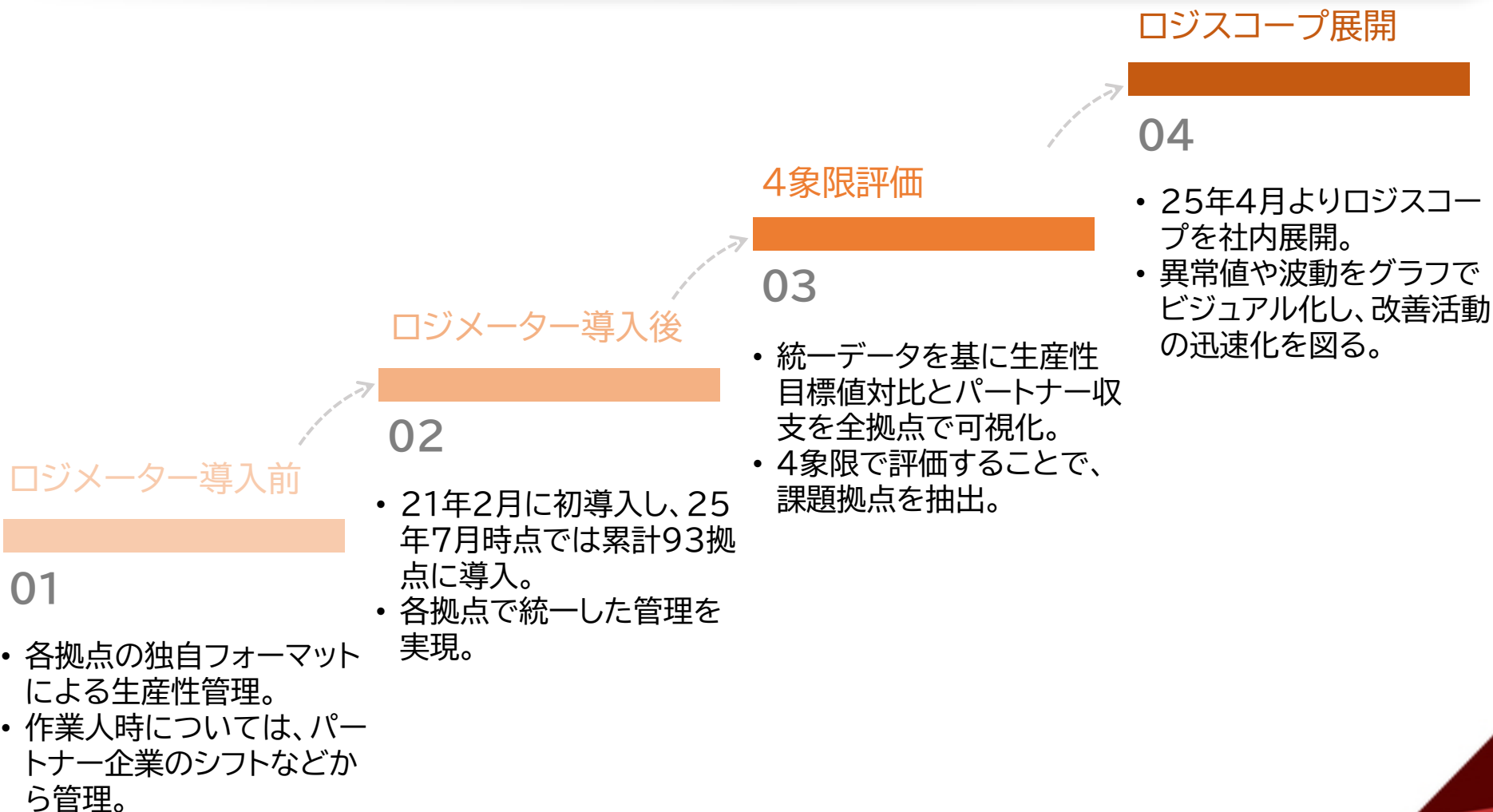
2. ロジメーター導入までの流れ

煩雑化した管理からの脱却

データの可視化環境の構築

データの統一化

ダッシュボード化



3.ロジメーターの活用

3. ロジメーターの活用

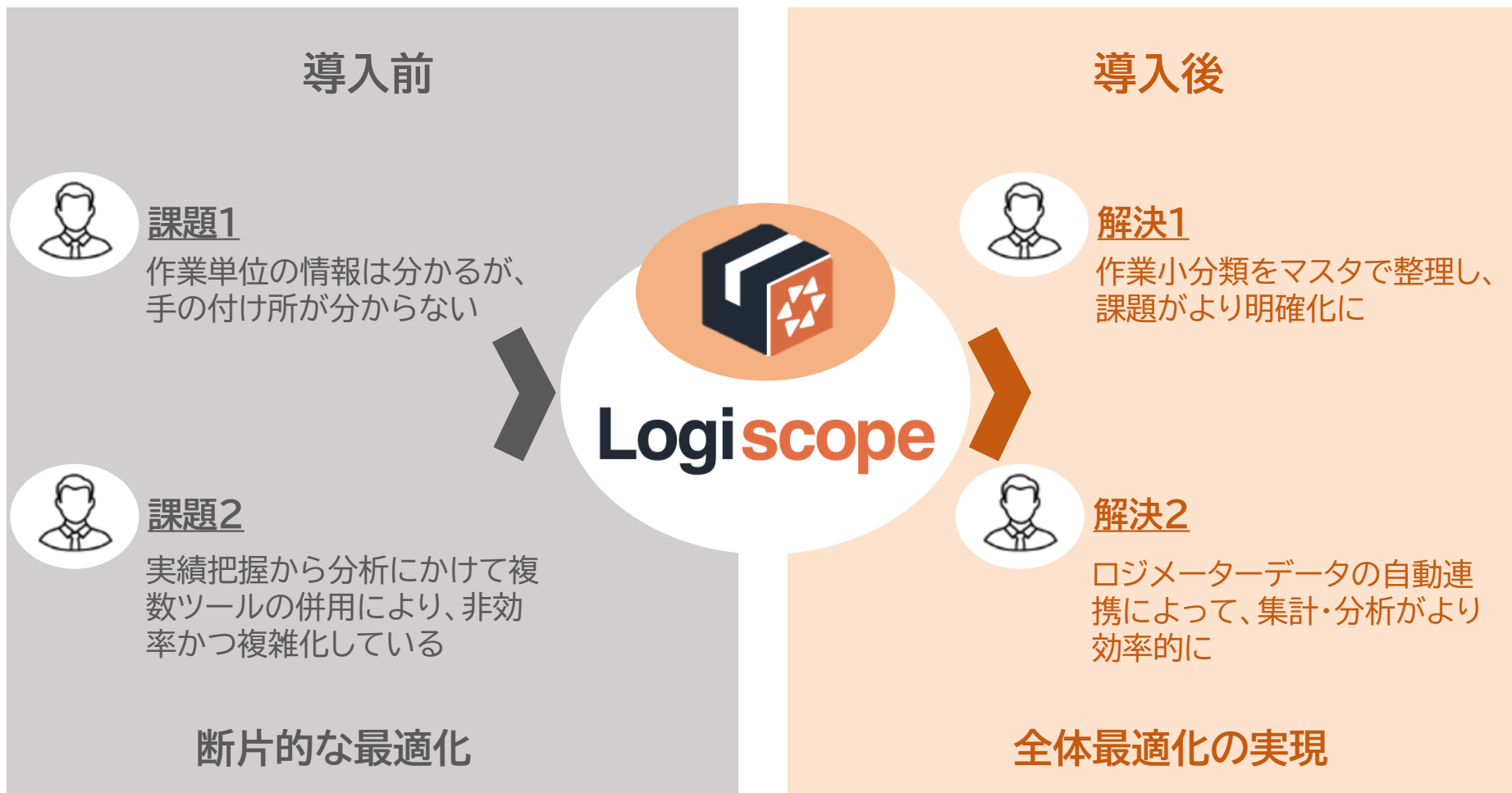
現場起点の課題抽出と改善提案が可能な体制へと移行し、改善サイクルの加速を実現

	社内業務	パートナー企業業務	効果
ロジメーター導入前	- 各帳票などから物量やと人時データの集計 - 集計データより生産性を算出、パートナー企業へ提示	提示されたデータを基に、庫内作業の課題点を抽出	
ロジメーター導入後	データによる生産性自動抽出 拠点独自の生産性管理ツールの構築	拠点独自の生産性管理ツールによる課題点の抽出	- 集計業務の簡素化 - 作業単位の生産性可視化によるボトルネック解消
4象限評価	拠点単位 生産性/パートナー収支の全社横並び比較	作業単位から拠点全体を俯瞰し、課題の認識	横並び比較による拠点単位の評価
ロジスコープ展開	全社単位 - 課題に対する庫内改善着手 - 得意先との与件緩和着手	ビジュアル化、アラート機能によってボトムアップによる課題と改善活動着手	現場起点での課題抽出/改善提案が可能

4.2025年取組事例

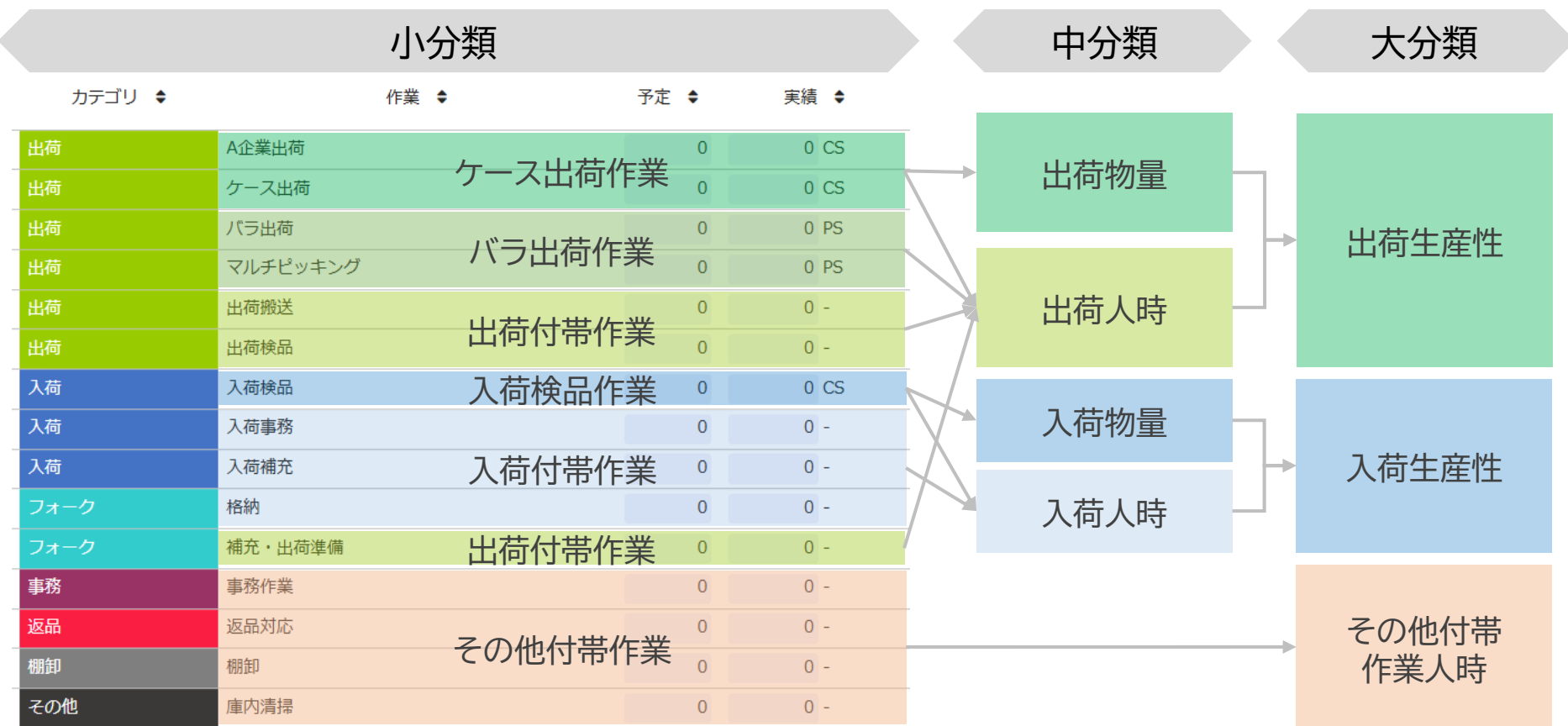
4. 2025年取組事例

Logiscopeの導入



4. 2025年取組事例

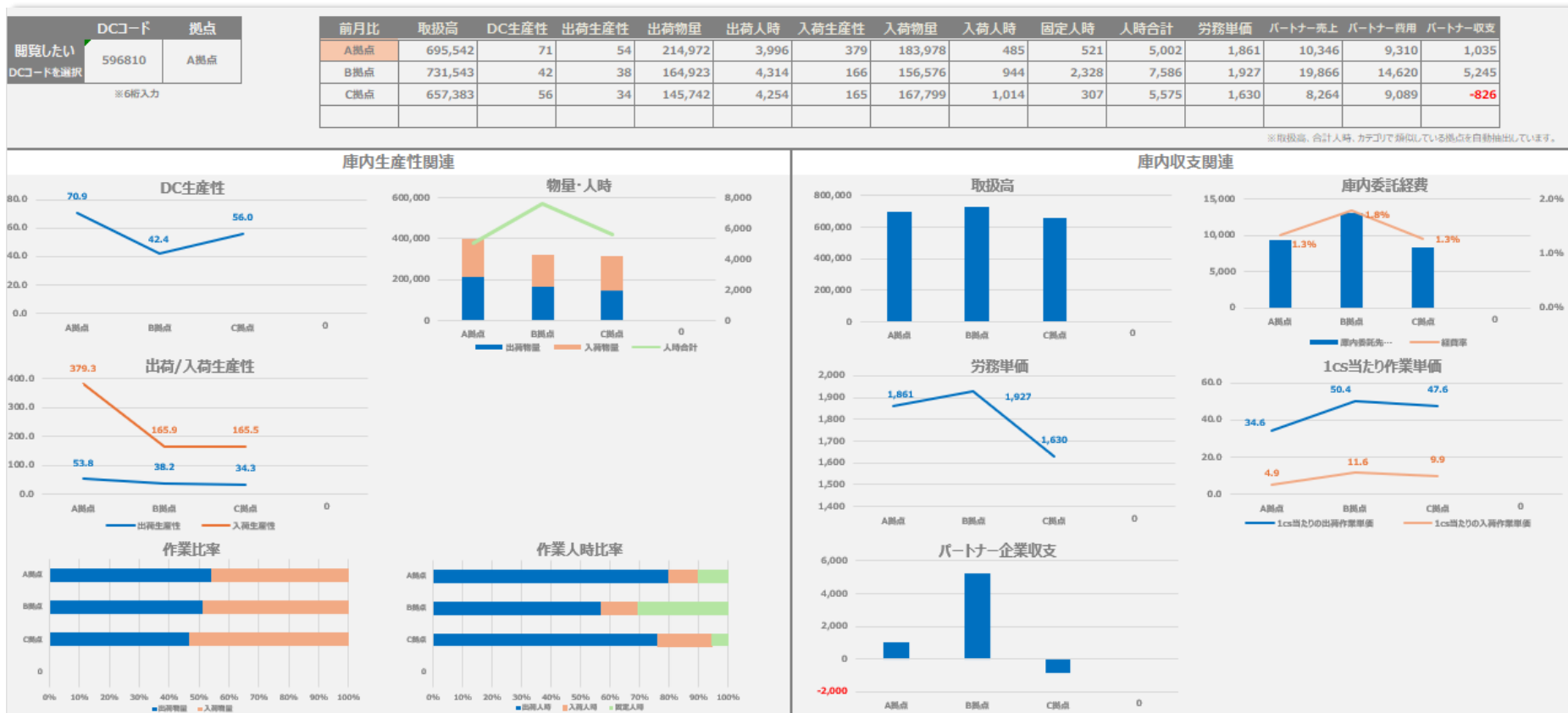
① 作業小分類をマスタで整理し、課題がより明確化に



- ✓ 作業単位にとどまらず、支店別・取扱カテゴリ・温度帯など多様な軸での分析ニーズに対応可能なマスタ整備を推進。

4. 2025年取組事例

① 作業小分類をマスタで整理し、課題がより明確化に

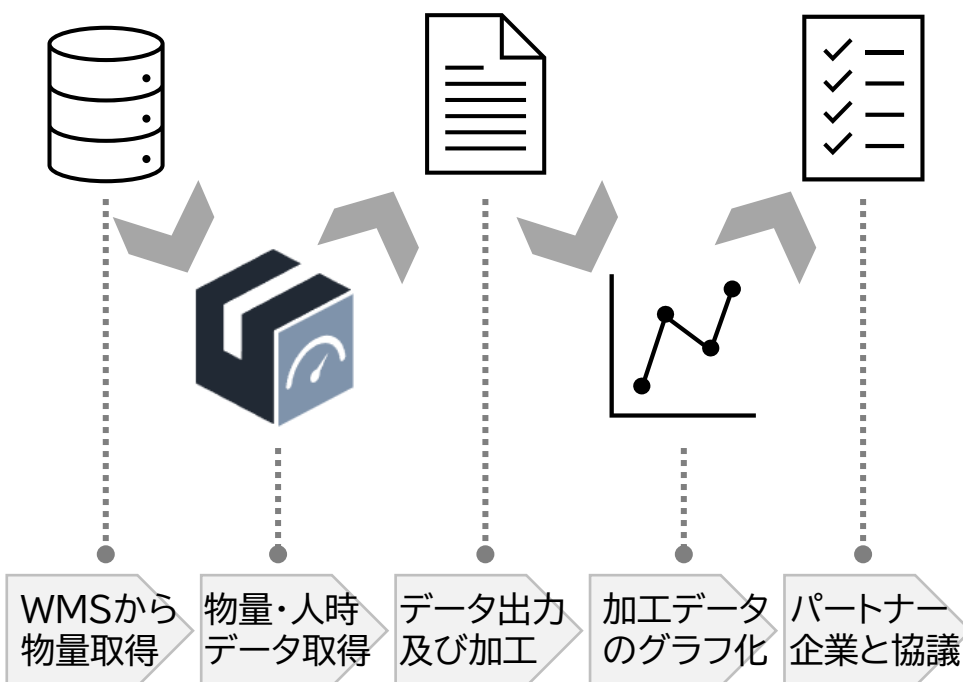


- ✓ マスタ整理によって、拠点単独だけでなく、拠点形態ごとの課題抽出を可能とする分析基盤を構築。
- ✓ 類似拠点などが横並びで比較出来る、本社の管理ツール作成にも貢献。

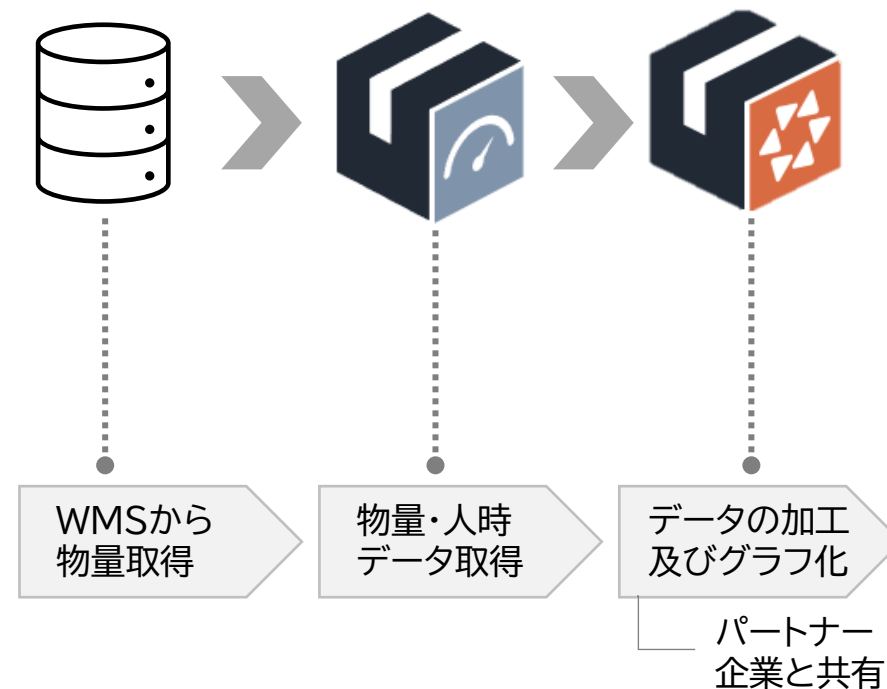
4. 2025年取組事例

② ロジメーターデータの自動連携によって、集計・分析がより効率的に

導入前の複雑管理



ロジスコープによる効率化



- ✓ 集計・分析機能がロジスコープに搭載され、拠点担当者の負担を軽減。
- ✓ 従来把握困難だった、異常値や波動を日次で可視化し、課題抽出から改善活動までを一貫して支援する分析基盤を構築。

4. 2025年取組事例

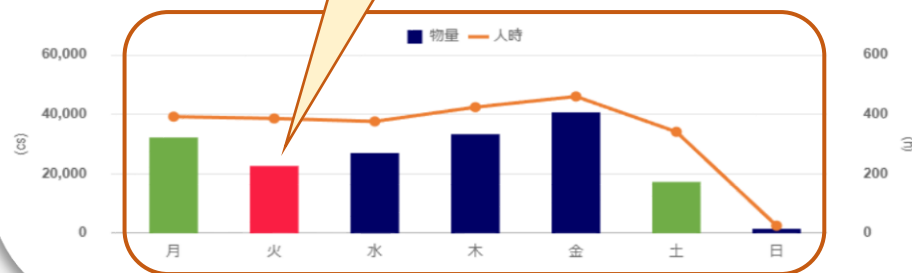
Logiscopeの活用

曜日別平均DC全体生産性比較



課題曜日

曜日別平均DC全体生産量・人時比較



1. 火曜日の生産性が目標値を下回る
2. 物量が下がっていても人時が抑制できていない
3. 人時を抑制するようシフト調整しよう
4. 或いは物量平準化へ調整してもらおう

現場起点の課題抽出・改善提案

1. シフトの調整で改善するか効果検証しましょう
2. 並行して、発注部署へ曜日波動を平準化するように依頼しておきます



- ✓ 一部拠点では、30%程度の業務をパートナー企業へ移管。
- ✓ ロジスコープによって、パートナー企業による自主的な分析が可能となり、業務改善のスピードが加速。
- ✓ 社内担当者は他部署との連携や、付随業務に注力できることで、改善の精度が高まり、拠点全体としての最適化を実現。

5. 今後の活用に向けて

5. 今後の活用に向けて

- ✓ ロジメーターやロジスコープの活用においては、データ精度や社内のマスタ整備に引き続き、磨きをかける必要がある。
- ✓ 当社は、“作業の違い”“与件の違い”“マテハンの違い”といった要素を『変数』と捉え、生産性への影響度を可視化する相関分析に取り組んでいる。
- ✓ 今後はこの分析結果をもとに、新規拠点の設定や、適正なマテハン機器の導入判断など、幅広い領域での活用を進めていく。

ロジメーター&
ロジスコープの
継続的な利活用

変数を捉え、
生産性との
相関関係を分析

新規拠点の開設、
庫内レイアウトや
マテハン機器の
選定などに活用

『持続可能な未来へモノとオモイを届ける』ために、更なる活用を推進します